

リュツォ・ホルム湾の定着氷の状況について

2018年 5月

国立極地研究所・南極観測センター

第59次越冬隊及び国立極地研究所は、越冬期間中の野外活動計画や来夏の輸送関連計画の参考情報とするため、衛星画像データ、昭和基地における目視・空撮画像、そして気象データなどを用いた海氷状況の監視を行っている。

2018年の状況

- 湾内の定着氷は広い範囲で割れが見られるが、沖合への流出の程度は2017年と比べて小さい。
- 2017年と同様に、オングル諸島周辺は、北側のごく一部を除いて開放水面が広がった。
- 北の浦及びオングル海峡の開放水面は、4月以降に結氷し始めた。強風に流されることなく、中島まで拡大した開放水面の北端は、岩島付近まで縮小してきた。

「しらせ」接岸点周辺の海氷状況

見晴らし岩から北方向

①2017年12月25日：燃料パイプ輸送



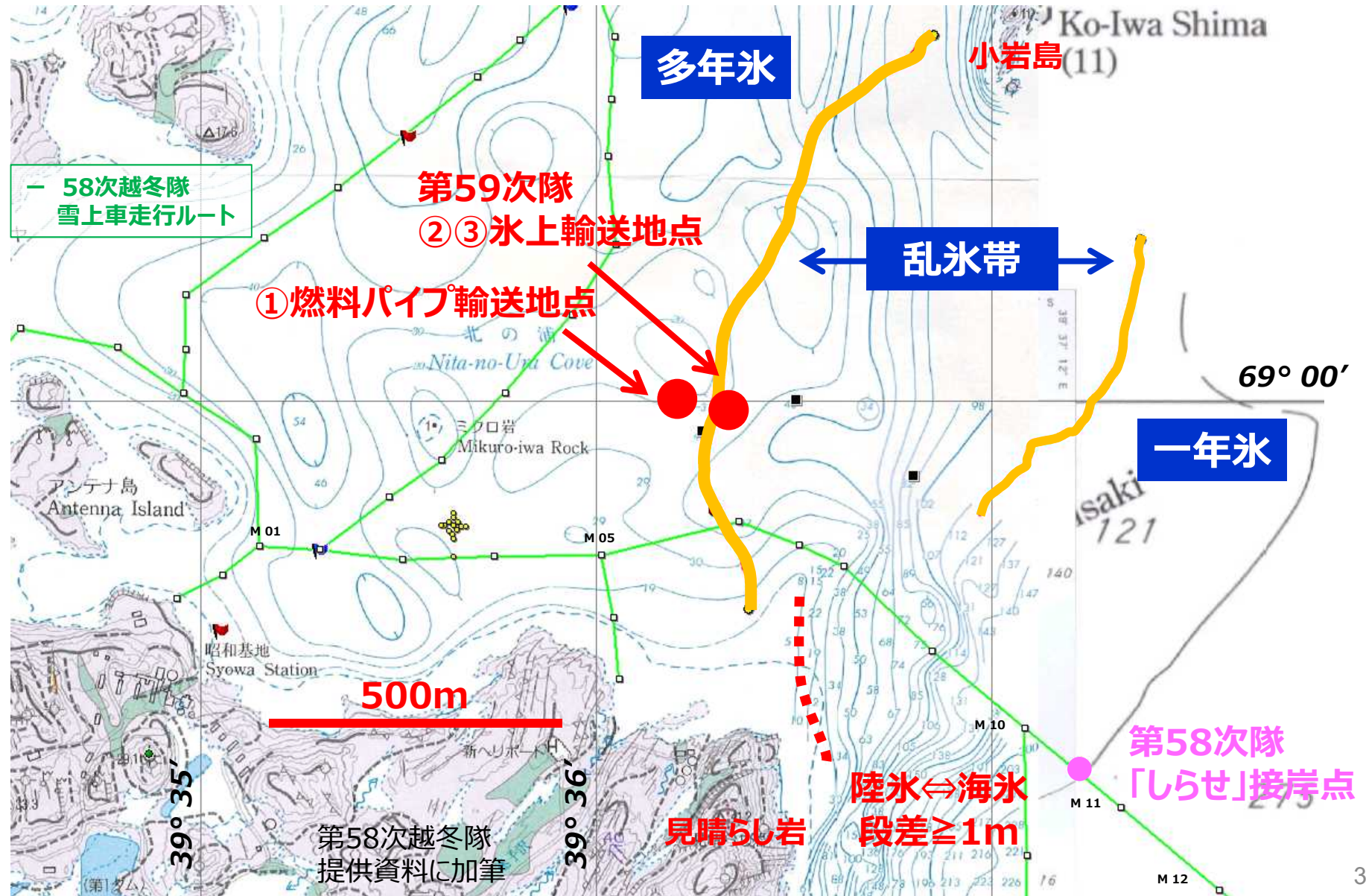
②2017年12月26日：氷上輸送（前部船艙）



③2017年12月29日：氷上輸送（後部船艙）

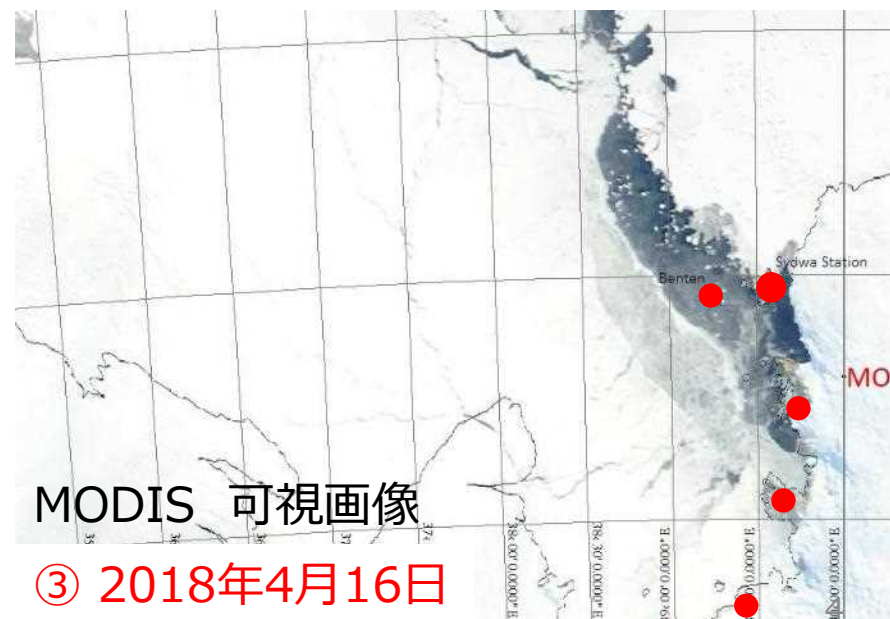
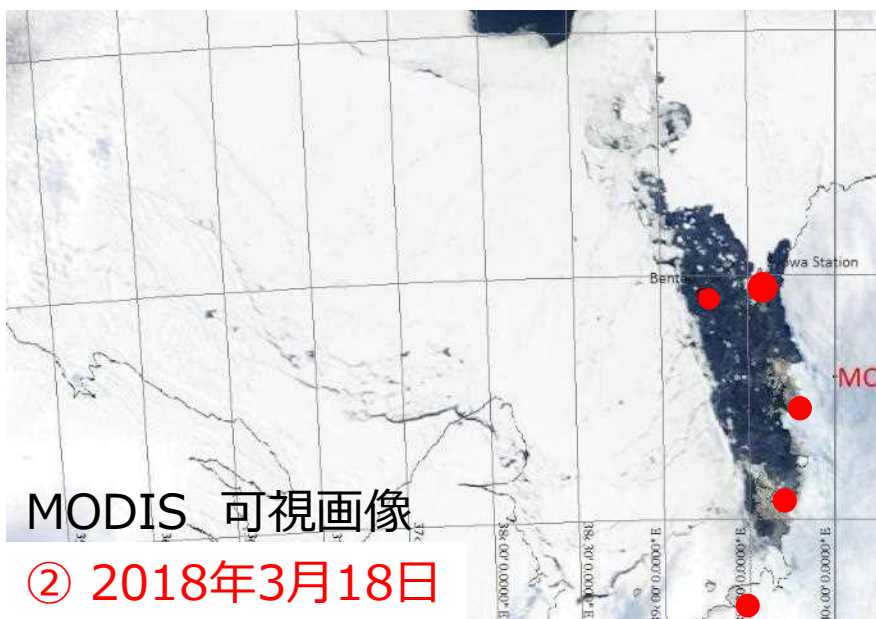
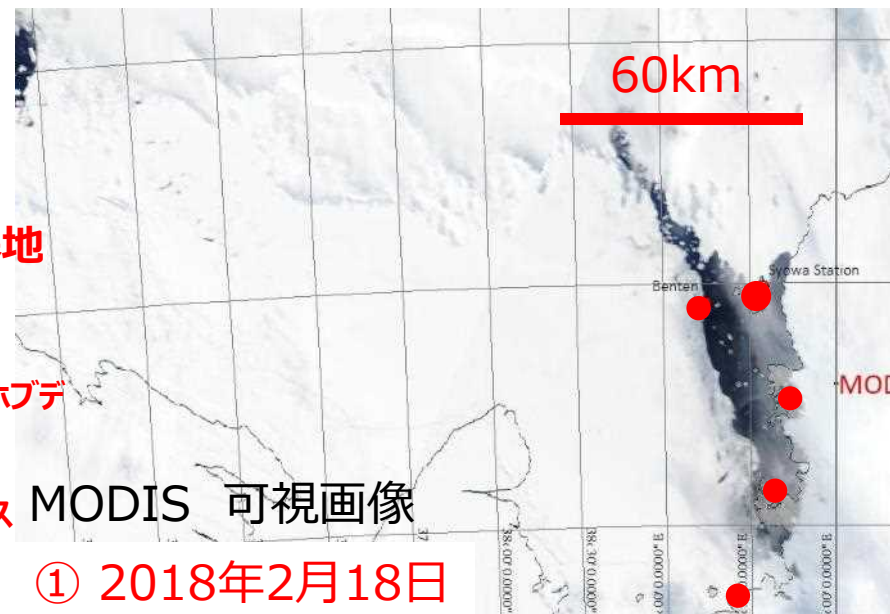
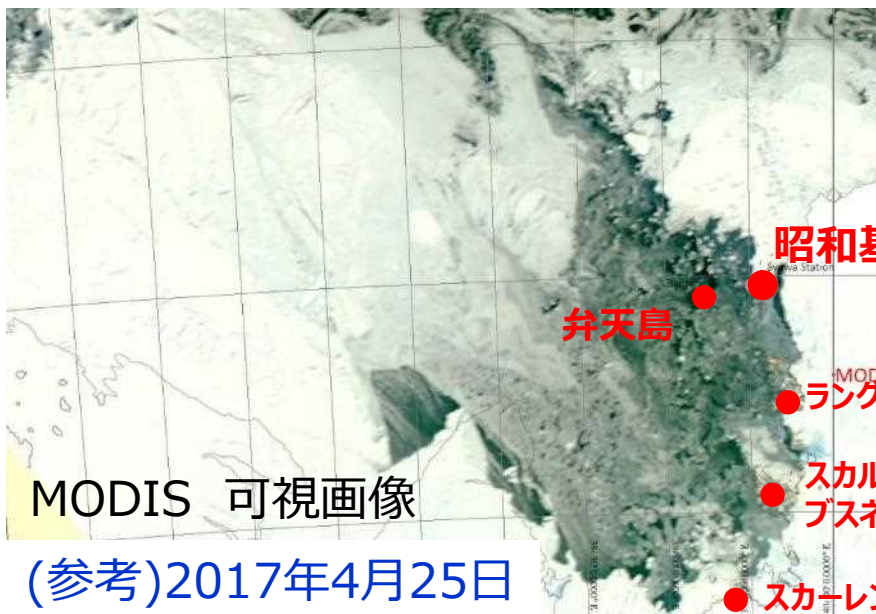


「しらせ」接岸点周辺の海氷状況



第58次越冬隊
提供資料に加筆

リュツォ・ホルム湾広域衛星画像

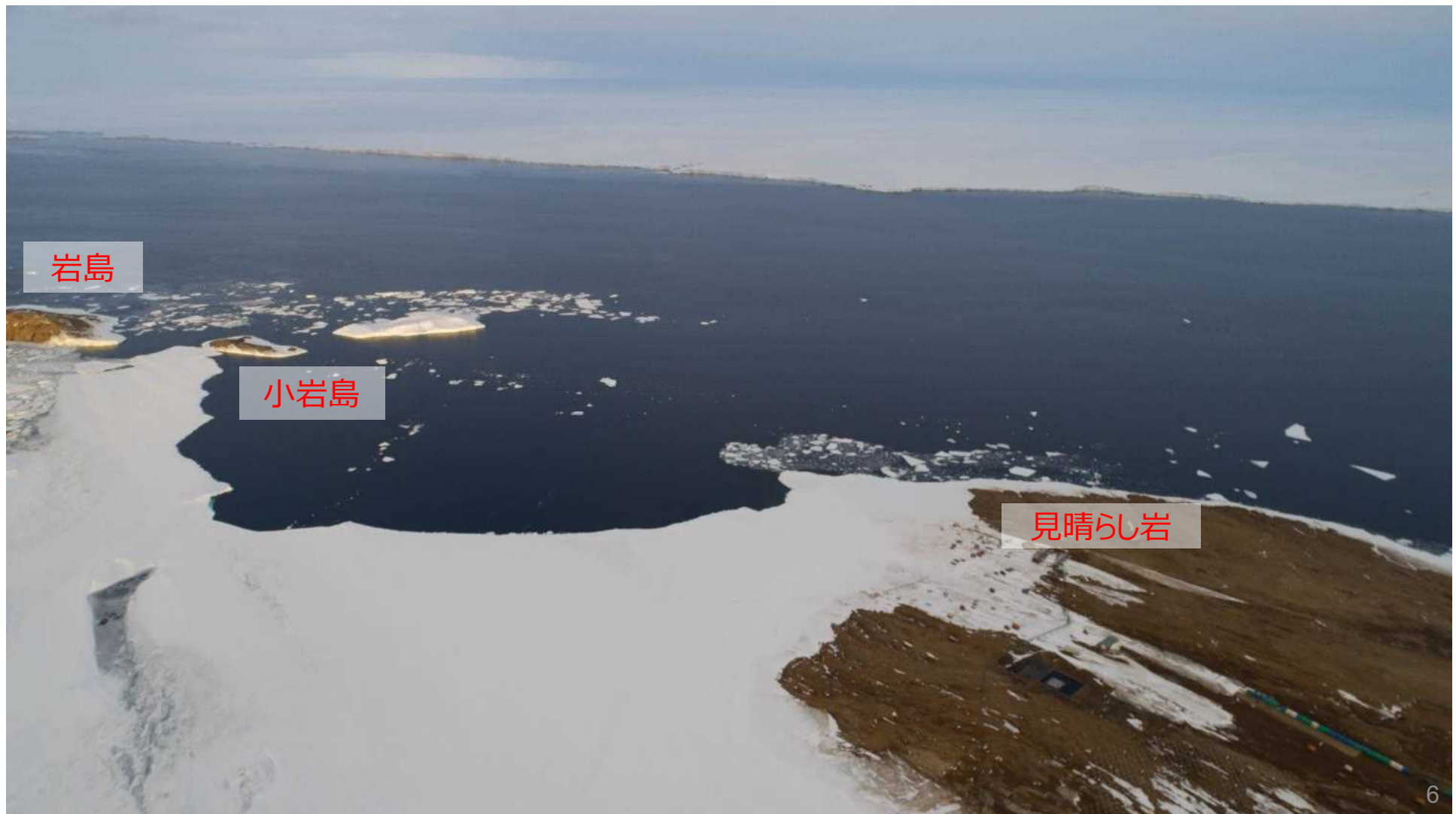


※5月～8月上旬は極夜のため可視画像では確認できない。

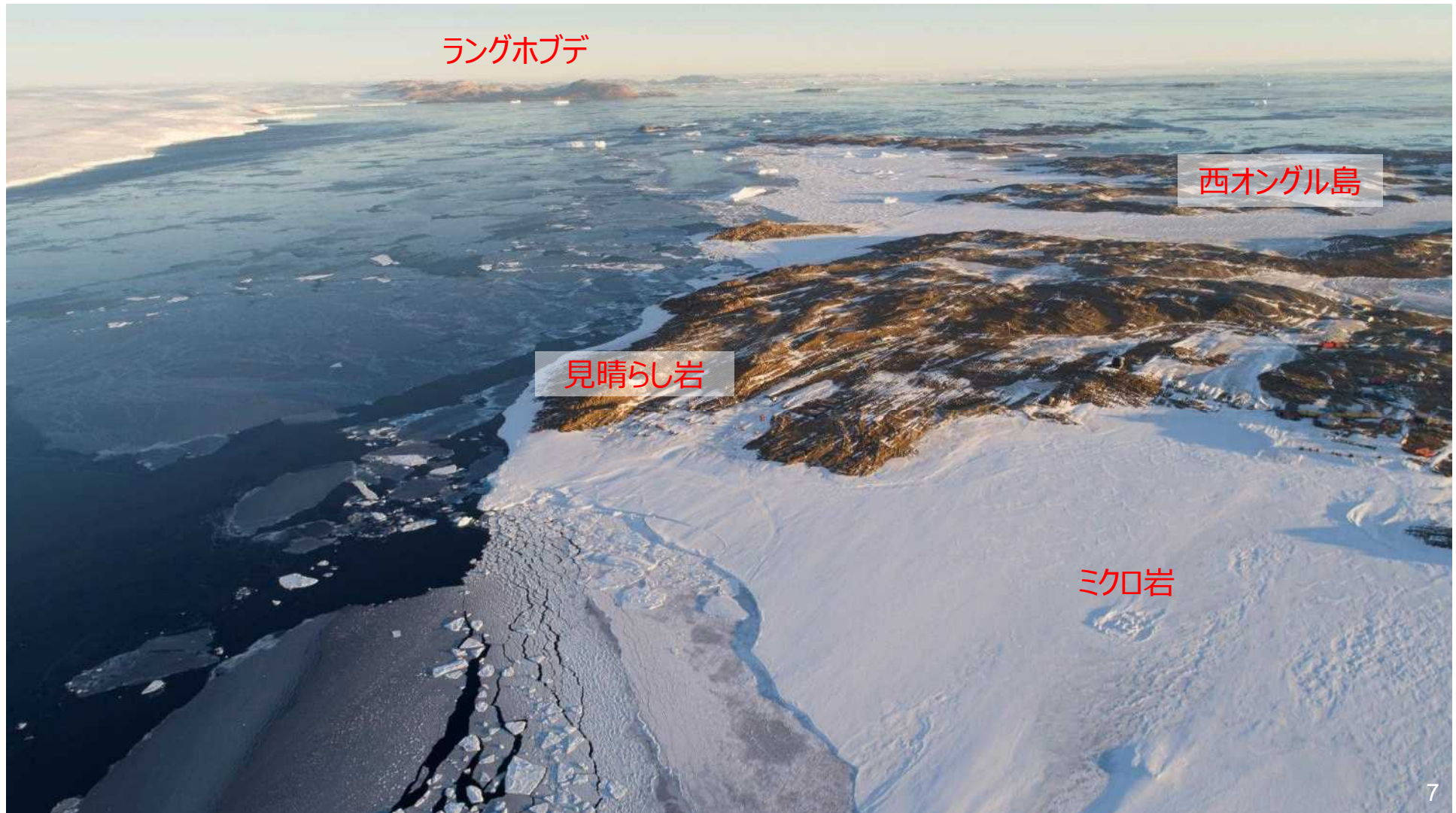
見晴らし岩から北方向



北の浦上空空撮画像：東方向
2018年3月1日



北の浦上空空撮画像：南方向
2018年3月27日



ラングホブデ

西オングル島

見晴らし岩

ミクロ岩

北の浦上空空撮画像：北東方向
2018年3月27日

